市町村名 浦添市

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	浦添市観光振	興計	·画策定事業					沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-イ 市場特性に対応した誘客活動の展開		
								奉中訂世	数3面灯	市場特性	に対応した	誘客活動の展開
担当部課名	市民部 経済観光局	観光	振興課	事業実施 年度	平成 28	~ 平成 年 29	-度	沖縄振興 該当	基本方針 協所		Ⅲ −1−	(1)
事業内容	顕著に推移す	⁻ る沖	縄県の観光産業を「	支えするた	≥め、浦添↑	⋾の観光振興	! の:	指針となる	浦添市観光	振興計画	画策定を	行う。
実施方法	□ 直接実施		委託 口補	助 [〕負担	□ ₹	□ その他()					
			H28年度	H2	9年度	НЗС	30年度 R1年度		合計		合計	
	A. 予算現額		6,98	7	13,98	6	-		-		20,973	
事業期間中	B. 執行済額		6,98	7	13,98	6	-		-			20,973
の予算額 ・執行額 【単位:千円】	うち 交付金充当額	Ę	5,59	0	11,18	8	_		-			16,778
【单位:十门】	執行率(%)(B/A	4)	100.0	%	100.0	%	_		-			100.0%
	執行状況の説明 当初計画していた事		事業内容は	全て実施し	た他、活動	目標	票及び成果	目標の達成	状況に銀	盖みて適	正であった。	
	活動目標(指標)							達	戓状況			
	冶 剔	日保	(扫标)			H28年度	ı	H29年度	H30年度	R1	年度	R2年度
	観光振興計画策定に向けた調査業務			目	標	1件		-	-		-	-
事業期間中の				実	績	1件		-	-		-	-
活動目標	観光振興計画策定に向けた支援業務			目	標	1件		-	-		-	-
				実	績	1件		-	-		-	-
	観光振興計画の策	定		目	標	-		策定	-		-	-
	POD BANK THE TOTAL	~		実	績	-		策定	-		-	-
	战里	日煙	(指標)		_			進:	涉状況			
	从人	. _П 1ж	(101)			H28年度	١	H29年度	H30年度	R1	年度	R2年度
	調査·支援業務報告	⊨≇σ) 宗 ア	目	標	1件		-	-		-	-
事業期間中の	则且 又 汲来仍报日	3 E V	700 1	実	績	1件		-	-		-	-
成果目標	観光振興計画の策	定完	7	目	標	-		完了	-		-	-
		,_,	·	実	績	-	L	完了	-		-	-
				目	標							
				実	績							

成果目標(指標)			達成/進物	步状況		
□ 中期にわたる事業効果■ 後年度に発現する事業効果		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 目標/発現年度
浦添市観光振興計画に基づき、観光誘客を目的とした事	目標	-	-	-	-	つなげる
業の実施につなげる。	実 績	-	-	-	-	-
	目標					
	実 績					
	□ 中期にわたる事業効果■ 後年度に発現する事業効果	□ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	□ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	□ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果 日標	□ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果 目標	□ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果 目標

【H30年度】

・浦添市観光振興計画の進捗管理について、「浦添市観光振興審議会」を開催し、その中で経済効果等を測定する専門部会を設置した。

状 況

説

明

成

果目

- ・浦添市観光振興計画の進捗管理として、関連施策の担当部署に進捗評価をしてもらい、取りまとめた。
- 「浦添市観光振興審議会」及び「専門部会」にて進捗状況の確認を行い、今後の施策に対しての意見を聴取した。

【完了後】事業効果等の確認 【完了後】改善措置等の検討 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等) (事業効果の更なる向上等) 【H30年度】 【H30年度】 ・令和元年に開業する大型商業施設やモノレール新駅開業及びその周辺開発など様々な環境が変化していく要因があることから、本計画が柔軟に対応 ・本計画では、前期(3年)、後期(5年)にわけて実施していくことなるが、 計画期間の8年で本市の情勢や環境は大きく変化していくものと思われ る。そこで定期的な調査を実施し、「浦添市観光振興審議会」及び「専門部 できる体制作りが求められる。 会」にて、有識者との連携を図り、適宜適切な計画の見直しを行う。 【R1年度】 【R1年度】 ・「浦添市観光振興審議会」及び「専門部会」にて行った進捗評価をもとに各 ・「浦添市観光振興審議会」及び「専門部会」にて行った進捗評価を施策 の担当部署にフィードバックすることで、更なる事業の推進を図る。 施策の評価を行い、関連部署との連携を図った。 ・新型コロナウイルスの影響で観光産業が全体的に下火になる中、計画 ・大型商業施設の開業やモノレール新駅開業など観光客の増加がみられる 環境の変化もあったが、新型コロナウイルスの影響から観光へ甚大な影響 及び各施策についても見直しを図る必要がある。 を被る可能性がある。

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

- ・「浦添市観光振興審議会」及び「専門部会」での有識者の知見を踏まえた進捗管理を行い、観光振興に向けた取り組みを推進する。 ・令和2年度に計画中間見直しを実施するにあたり、効果的な調査方法を検討する。
- ・本計画の取り組みを推進していく上で、関係部署及び関係団体との連携強化を図る。

- ・令和2年度の計画中間見直しへ向けて、指標検証のための調査方法を更に精査する。
- ・新型コロナウイルスの影響を把握しながら、新たな時代を見据えた計画の見直しを検討する。

市町村名 浦添市 沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【事業完了後】 第3章-3-(10)-ア 沖縄21世紀ビジョン 事業名 浦添市企業立地 · 雇用施策方針策定事業 雇用機会の創出・拡大と求職者支 基本計画該当箇所 援 事業実施 市民部 沖縄振興基本方針 平成 平成 担当部課名 産業振興課 年度 **Ⅲ**-2 経済観光局 年度 該当箇所 28 29 本市の雇用環境の状況を把握し、雇用施策の改善・充実を図るため、社会的に流動的な雇用情勢に対応した中期的計画となる 事業内容 「企業立地雇用施策方針」を策定する。 実施方法 □ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他(H28年度 H29年度 H30年度 R1年度 総事業費 3,787 A. 最終予算額 8,400 12,187 B. 執行額 8.316 3.783 12.099 うち 事業期間中 8,316 3,783 12,099 交付対象事業費 の予算額 ・執行額 3.026 9.678 6 652 【単位:千円】 交付金充当額 99 0% 執行率(%)(B/A) 99 9% 99.3% 当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標及び成果目標の達成状況に鑑みて、適正であった 執行状況の説明 と考えている。 達成状況 活動目標(指標) H28年度 H29年度 H30年度 R1年度 R2年度 目 標 立ち上げ 検討委員会等外部組織の立ち上げ 実 績 立ち上げ 目 標 3回 事業期間中の 企業立地・雇用施策方針策定のための検討 活動目標 委員会の開催 3回 実 績 2回 目 標 10 企業立地フォーラムの開催 1回 実 績 1回 目 標 基礎調査実施 企業立地・雇用施策方針策定のための基礎 調査実施 実 績 基礎調査実施 進捗状況 成果目標(指標) H28年度 H29年度 H30年度 R1年度 R2年度 策定 目 標 浦添市企業立地雇用施策方針の策定 実 績 策定 事業期間中の 成果目標 目 標 課題把握 企業立地・雇用施策方針策定に向けての本 市の現状、課題の把握 実 績 把握した 目 標 100人 企業立地フォーラムの参加者 100人 実 績 100人

	成果目標(指標)	達成/進捗状況							
	□ 中期にわたる事業効果■ 後年度に発現する事業効果		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 目標/発現年度		
事 業	企業立地雇用施策方針に基づき、雇用施策の実施につ	目標	1	-	雇用施策の実 施	雇用施策の実 施	雇用施策の実 施		
	なげる。	実 績	-	-	各種施策を実 施	雇用施策の実 施	-		
	2020年(令和2年度)の国勢調査における、就業者数の	目標	1	-	1	1	3,700人		
7.了後	增	実 績	-	-	-	-	-		

【H30年度】

企業立地雇用施策方針に基づき、以下の雇用施策を実施した。

- 創業を希望する方及び創業して間もない方を対象にハンズオンによる創業支援を実施した。
- ・市内の空き店舗と入居既往事業者とのマッチング支援を実施した。
- ・在宅就労を希望する方向けに多様な働き方導入セミナー及びICTを活用したテレワーカー養成講座を実施した。

・企業の人手不足課題の解決に向け、企業体験・見学ツアーを開催し、企業とのマッチングに努めた ・介護の人材確保に向け、介護従者によるトークセッション、介護をテーマにした映画上映及び介護事業所見学会を開催した。

況 説

状

の

成

果目

- ・創業を希望する方及び創業して間もない方を対象にハンズオンによる創業相談支援及び創業フォローアップセミナーを開催した。
- ・市内の空き店舗と入居既往事業者とのマッチング支援を実施した。 ・企業の人手不足課題の課題解決を図るため、高年齢者雇用の理解促進について企業セミナーを実施した。
- ・企業の人手不足課題の解決に向け、高年齢者を対象に企業体験・見学ツアー開催し、企業とのマッチングを図った。
- ・ハローワーク那覇と連携し、高年齢者の求職者を対象に求人説明面接会を開催した。

【完了後】事業効果等の確認

(施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)

【完了後】改善措置等の検討

(事業効果の更なる向上等)

- ・雇用情勢は改善を見せる一方で、中小企業や小規模事業所は、求人募集 をしてもなかなか人材を獲得できない状況が続いている。
- ・多様な働き方導入セミナーでは、予想以上に多くの申込があったことから、 在宅勤務等の関心の高さが窺われた。
- ・企業誘致を行う大規模な土地の確保が困難な状況にあるが、西海岸エリア においても大型商業施設や大手コンビニ関連食品工場が立地するなど徐々 に企業立地も進んでいる。

【R1年度】

- ・西海外エリアに大型商業施設や大手コンビニ関連食品工場が立地したこと を受け、大規模な雇用が促進された。
- ・県内雇用情勢は大幅な改善が見られる中、中小企業や小規模事業所は、 売り手市場の状況が続いていたが、新型コロナウイルス感染拡大により、雇 用情勢は深刻なダメージを受けることとなった。
- ・新型コロナウイルス影響を受け、在宅勤務(テレワーク)の重要性が高まっ ている。

- ・雇用のミスマッチを防ぐためにも、企業及び求職者のニーズの把握に努 め、効果的なマッチング支援に取り組む必要がある。
- ・在宅勤務など、多様な雇用形態により就業に結びつけることが可能であると考えられることから、多様な働き方の推進を図る必要がある。
- ・ソフトウェア開発等の情報通信関連産業などの高付加価値の高い事業・ 企業を取り込んでいくため、引き続き空き店舗情報の提供及び市内遊休 地の情報収集に努め、進出意向企業への有意な情報提供できるよう体制 を強化していく必要がある。

【R1年度】

- ・雇用継続及び安定を図るために、企業及び求職者のニーズの把握に努 め、効果的なマッチング支援に取り組む必要がある。
- ・新型コロナの影響を受けた失業者等への雇用支援として、ハローワーを通じた斡旋や求人説明会など、早期に雇用機会の創出を図っていく。 ・企業におけるテレワークの推進やテレワーカーの育成支援が必要であ
- ・2022年度に情報産業関連オフィス兼滞在型ホテルの立地が予定されて いるため、ソフトウェア開発等の高付加価値の企業へ情報提供を行うとと もに、県外企業等へのワーケーション推進を図っていく。

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【H30年度】

- ・企業における人手不足を解消させていくことが、持続的な地域経済の拡大にとって必要不可欠であることから、就業を希望する方を確実に雇用に繋げ ていくため、浦添市雇用対策運営協議会、関係機関及び事業者と連携し効果的に雇用支援を実施していく。
- 人材の確保及び定着には、働きやすい職場環境の構築が重要であることから、沖縄労働局や関係機関と連携し、働き方改革を推進していく。
- ・浦添市中小企業・小規模企業振興会議を通じて、市内事業所の現状及び事業者ニーズの把握に努め、地域密着型の支援を実施する。
- 都市モノレール延伸による各事業の動向も注視しながら、新たな雇用機会の創出に向けた企業誘致及び雇用施策に取り組む。

- ・経済の安定化を図るためにも、雇用の維持及び確保は喫緊の課題であるため、行政や労働、教育、福祉分野が連携した取組が必要である。 ・浦添市中小企業・小規模企業振興会議を通じて、新型コロナウイルスの影響について状況の把握に努め、企業及び労働者のニーズを雇用施策に反
- 映していく。
- ・企業における雇用の維持・確保を図るために、国及び県等が実施する支援金等の活用促進を図り、各種支援に繋げていく。
- · 失業者や就職困難者等への人材マッチング支援に努める。 · 牧港補給基地返還に伴う跡地利用を見据えた企業立地関連情報の収集及び発信に努め、企業立地の気運の醸成に努める。
- 都市モノレール延伸による各事業の動向も注視しながら、新たな雇用機会の創出に向けた企業誘致及び雇用施策に取り組む。

市町村名		浦添市										
		沖縄振興	具特別推進交付	金事業(7	节町村:	分)検証シ	一ト【事	業完了後]			
事業名		那覇港(泊ふ頭)陸	上電力供給施設整	備事業				t紀ビジョン i該当箇所	第3章-3-			
担当部課名	û	·画部 西海岸開発	局 西海岸開発課	事業実施年度	平成284	年度	沖縄振男	基本方針	人流・物流を支 <i>え</i> Ⅲ-1			
事業内容		上電力供給施設を 【施設概要】高圧	れる港として、停泊中 を整備した。 受変電設備:3箇所(600V 全出力:350kW	中の船舶から電源供給対象			を抑制し、快	適な環境の研		、泊ふ頭に陸		
実施方法		│直接実施 □	〕委託 ■ 補	助 □	負担	ロそ	の他()					
		H28年度		H29	年度	H30:	年度	R1年度	. *	8事業費		
	Δ	最終予算額	4,3	42						4,342		
	Е	3. 執行額	4,2	22						4,222		
事業期間中 の予算額		うち 交付対象事業費	4,2	22						4,222		
・執行額 【単位:千円】		うち 交付金充当額	3,3	78						3,378		
	執行	f率(%)(B/A)	97.	2%						97.2%		
					各船社との協議を踏まえ、受電設備の仕様を見直したことにより、不測の日数を要した。 置検討において関係者との調整に不測の日数を要したことから、4,089千円をH29年度に							
	活動目標(指標)						達	成状況				
						H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	那覇港(泊ふ頭)陸上電力供給施設の実施設			Į I	標	実施	-	_	_	-		
事業期間中の	計並	びに整備工事の実	施	実	績	実施	-	_	-	_		
活動目標				目	標							
				実	績							
				目	標							
				実	績							
		代田 口 括	m / +匕+m \				進	捗状況				
	成果目標(指標)		表(1日1元 <i>)</i>			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	7± L	- 電力供公佐記数供	= o 	目	標	3基	-	-	-	-		
事業期間中の	陸上電力供給施設整備 3基		実	績	3基	-	-	-	_			
成果目標				目	標							
				実	績							
				目	標							
				実	績							

	成果目標(指標)			達成/進扬	步状況		
	□ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果		H29年度	30年度	R1年度	R2年度	3年度 目標/発現年度
	観光客を受け入れる港として快適な環境が確保されていると感じるか(80%以上)を含め、船舶運航事業者へのアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。	目標	-	ı	ı	-	アンケート結果 「快適な環境が 確保されている」 (80%以上)
事業完		実 績	-	未実施	未実施	-	-
了		目標					
後の世		実 績					
成果目標	【H30年度】 ・アンケートの内容及び実施方法について検討中	0					

状 況 説

【R1年度】 ・アンケートの内容及び実施方法について検討中。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)	
【H30年度】 ・対象船舶を利用する乗降客は引き続き増加傾向にある。 当該施設の設置にあたっては事前に関係者とその仕様、及び設置場所について協議を行っていることから、快適な環境づくりに寄与しているものと考えられる。	【H30年度】 ・泊ふ頭を利用する観光客の満足度向上に向けて、次年度以降、屋根付き歩道や多言語標識の整備を行うための事前準備を進めるとともに、アンケートの内容、実施時期について検討を行う。	
【R1年度】 ・泊港橋における屋根付き歩道の基本設計を完了した。また、泊ふ頭に設置する多言語標識の実施設計を完了した。	【R1年度】 ・泊港橋へ屋根付き歩道を設置することにより、北岸船客待合所までの快適な動線が確保され、大きな事業効果が期待される。・県内航路における船舶乗降人員は60万人前後で推移しており、引き続き観光客の満足度向上に向けた取組が必要となっている。	

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【H30年度】

・屋根付き歩道の整備や多言語標識の整備に向けた準備を進め、泊ふ頭地区における観光客の更なる満足度向上を図る。

- 【R1年度】
 ・泊港橋において屋根付き歩道の実施設計を行う。また、多言語標識設置工事を実施する。
 ・令和2年度中のアンケート実施に向けて、関係者との調整を実施する。

市町村名		浦添市								
		沖縄振頻	具特別推進交付	金事業(1	町村分)検証シ-	-ト【事訓	美完了後	1	
事業名		冷凍冷蔵コンテナ	-用電源整備事業					紀ビジョン 該当箇所	第3章-3- 臨港・臨空型産 よる国際物流	業の集積に
担当部課名	企	画部 西海岸開発	司 西海岸開発課	事業実施 年度	平成28年度		沖縄振興基本方針 該当箇所		Ⅲ-1-(3)	
事業内容		年々増大している 【施設概要】	コンテナターミナルに 5冷凍冷蔵コンテナ需 40V (2段×10口、1月	要に対応する	るため、さられ					
実施方法		直接実施 □	委託 ■ 補	助 □	負担	□ その)他()			
	_		- H28年度	H29	年度	H30年	度	R1年度	*	事業費
	А	最終予算額	6,60	06						6,606
	В	3. 執行額	5,59)3						5,593
事業期間中 の予算額		うち 交付対象事業費	5,59	13						5,593
·執行額 【単位:千円】		うち 交付金充当額	4,47	74						4,474
	執行率(%)(B/A)		84.7	7%						84.7%
	執行	状況の説明	・リーファー電源の記・当初は、既存の電分の増設まで対応で	気室を増築し	、リーファ ー	-電源の増設	を行う予定で	であったが、!	既存の電気室の	
		T = 1 D IA	F / + 1-, 1-25 \				達月			
	活動目標(指標)				H	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	リーファー電源及び電気室の事			B	- -				,.	R2年度
事業期間中の		リーファー電源及び電気室の実施設計の実施			示	施設計の実施	-	-	-	R2年度 -
活動目標				実		施設計の実施施設計の実施	-	-	-	R2年度 - -
	IJ — -			実目	績 実		- - -	-	-	R2年度 - -
	リーフ	7ァー電源及び電気室			標	施設計の実施	- - -	- - -		R2年度 - - -
	IJ—ī			目	標標	施設計の実施 10口	- - -	- - -		R2年度 - - -
	IJ—ī			目 実	標標標	施設計の実施 10口	-	- - -		
	у— ,	7ァー電源10口設置ユ	工事の実施	実	標標標	施設計の実施 10口	進			R2年度
	у— -		工事の実施	実	標績標	施設計の実施 10口	_ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _	- - - - 歩状況 H30年度	- - - - R1年度	R2年度 - - - - R2年度
		ファー電源10口設置コ 成果目標	□事の実施 (指標)	実	積標積	施設計の実施 10口 22口				-
事業期間中の		7ァー電源10口設置ユ	□事の実施 (指標)	里 里 里	續 標 續 標 續	施設計の実施 10口 22口 H28年度				-
	IJ—5	ファー電源10口設置ニ 成果目標	に事の実施 関(指標) この実施設計完了	目 実 目 実	標標標標標標標	施設計の実施 10ロ 22ロ H28年度 施設計完了				-
事業期間中の	IJ—5	ファー電源10口設置コ 成果目標	に事の実施 関(指標) この実施設計完了	目 実 目 実	積標積標積 票積 票 実 10	施設計の実施 10ロ 22ロ H28年度 施設計完了 施設計完了				-
事業期間中の	IJ—5	ファー電源10口設置ニ 成果目標	に事の実施 関(指標) この実施設計完了	日 実 日 実 日	積 東 標 積 標 標 類 東 標 10	施設計の実施 10ロ 22ロ H28年度 施設計完了 施設計完了				-

	成果目標(指標)			達成/進扬	步状況		
	□ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 目標/発現年度
	那覇港のリーファーコンテナの取扱貨物量の増加	目標	-	-	1	-	76万トン
重	か朝代の プラーコンテナの私が兵物重の追加	実績	70万トン	71万トン	75万トン	-	-
事業完		目標					
了 後		実績					
の成果目標	【H30年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量	量は増加している。					

状況説明

【R1年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量は増加している。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【H30年度】 ・新港ふ頭地区に那覇港総合物流センターが次年度開業することに伴い、取扱貨物量は今後さらに増加していくものと見られる。	【H30年度】 ・那覇港総合物流センターを活用した集貨・創貨の取組促進のため、 運営事業者による施設の運用状況を定期的にモニタリングしていく必要がある。
【R1年度】 ・新港ふ頭地区に那覇港総合物流センターが開業した事などが増加の要因と考えられる。	【R1年度】 ・那覇港総合物流センターを活用した集貨・創貨の取組促進のため、 運営事業者による施設の運用状況を定期的にモニタリングしていく必要がある。

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【H30年度】 ・那覇港総合物流センターの開業後は、月に1度モニタリング会議により事業者の集貨・創貨計画の取組状況を確認し、必要に応じて指導・勧告を行う。

【R1年度】 ・今後も月に1度のモニタリング会議を継続し、事業者の集貨・創貨計画の取組状況を確認するとともに、必要に応じて指導・勧告を行う。

市町村名 浦添市

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	創業者定着支援事	創業者定着支援事業				沖縄21† 基本計画	世紀ビジョン 画該当箇所	第3章-3-			
担当部課名	市民部経済観光局産		事業実施 年度	平成 ~ 28	平成 30		興基本方針 当箇所	ш-	-2		
事業内容	市内における創業者数の増加及び安定的な継続創業を図るため、創業・ビジネス情報を発信するとともに、創業・ビジネスコン・ストで選定した事業者に対し、専門家によるハンズオン支援、セミナー開催等による創業者等を支援する。							ごジネスコンテ			
実施方法	□ 直接実施 ■ 委託 ■ 補助 □ 負担					子の他()					
	H28年度		H29	年度	H30 ±	F度	R1年度	安 合計			
	A. 予算現額	8,29	30	27,000		10,000			45,280		
事業期間中	B. 執行済額	8,2	78	21,898		9,255			39,431		
の予算額 ・執行額	うち 交付金充当額	6,62	22	17,518		7,404			31,544		
【単位:千円】	執行率(%)(B/A)	100.0	0%	81.1%		92.6%			87.1%		
	執行状況の説明	各年度とも当初計画	画していた事:	業は概ね計	画どおり執行	うでき <i>たたた</i>	め、適正であ	ったと考えてい	3 .		
	活動目標				達	成状況					
	72-32-13			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度			
	ステップアップセミナー等	目		6回	6回	開催	_	-			
事業期間中の 活動目標			実		6回	6回	開催済	_	_		
	創業・ビジネスコンテスト	の開催	目		1回	1回	開催	_	-		
			実		10	10	開催済	_	-		
	支援ネットワーク構築に	目		-		実施	_	_			
			実	額	-	-	実施済	_	_		
	成果目標	(指標)			H28年度	 ———— H29年度	勝状況 ────────────────────────────────────	R1年度	R2年度		
			B		- 1120年及	—————	実施	一	一		
	対象者へのハンズオンジ	支援の実施	実		_		実施済	_	_		
				_	_		10	_	_		
	ビジネスコンテストの開催	崖1回	実	績	_		10	_	_		
事業期間中の 成果目標			目		_		6回	_	_		
	ステップアップセミナーの	開催6回	実		_		6回	_	_		
			目	_	-	_	構築	_	_		
	支援ネットワーク構築		実		-	_	構築済	_	_		
	【参考指標】		目	標	200人	200人	200人	_	-		
	ステップアップセミナー等 200人	への延べ参加人数	実	績	116人	136人	259人	_	_		

	成果目標(指標)			達成/進扬	步状況		
	□ 中期にわたる事業効果■ 後年度に発現する事業効果		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R6年度 目標/発現年度
	創業者数:3社以上	目標	3社以上	-	-	_	_
車	剧来省数.0社以上	実 績	13社	-	-	_	-
事業完	定着率:60%以上	目標	ı	-	-	-	60%以上
了後	足 眉平.0090 以 上	実績	-	-	-	-	-
の成果目標	【R1年度】 -R1年度における創業者数を3社以上と設定した	目標に対し、実績は	13社と大幅に	上回った。			

状況説明

(1	【完了後】事業効果等の確認 施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【R1年度】 ・創業後におり おり、フォロー	ナる勉強会、創業者同士・新規創業希望者との交流が不足して ・アップが十分ではない。	【R1年度】 ・創業後におけるフォローアップ研修や、創業者間の交流の促進を図る。

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R1年度】 ・民間コンサルタントの主導により、創業後におけるフォローアップ勉強会を開催。新規創業希望者も対象とし、創業者間の交流促進を図った。

市町村名 浦添市

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	那覇港総合物流センター整備事業						<td <="" color="block" rowspan="2" th=""></td>				
担当部課名	企画部 西海岸開発局	西海岸開発課	事業実施 年度	平成 25	~ ^{平成} 年 30		興基本方針 当箇所	I I−1−(3)			
事業内容	本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、従来型物流の高度化を図り、さらに付加価値型もの り産業の集積などの国際物流拠点の形成を図るため、物流棟本体及び電気工事、機械工事、地盤改良工事を行う。										
実施方法	□ 直接実施 □	委託 ■ 補助	b [□負担□その		の他()	他()				
		~H27年度	H2	H28年度		H29年度		:	合計		
	A. 予算現額	167,610	217,849		354,166	1	96,248	935,873			
事業期間中	B. 執行済額	167,582	2	217,849		354,166	1	96,248	935,845		
の予算額 ・執行額 【単位:千円】	うち 交付金充当額	134,06	5	174,279		283,332	1	56,998	.998 748,674		
【单位:十门】	執行率(%)(B/A)	100.09	6	100.	0%	100.0%		100.0%	100.0%		
	・総合物流センター建設地の地中にて多数の岩塊が確認されたことや、地盤改良工法変更など、これらに伴う 執行状況の説明 設計変更により繰越が生じた。 ・最終的な執行率は99.9%となり、概ね計画的に執行できた。										
	活動目標(指標)		達成状況								
					~H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	総合物流センター建設工事の実施		目	標	実施設計の実 施	基礎工事の着 手	基礎工事、躯 体工事の実施	躯体工事、設備 工事の実施	設備工事、外装 工事の実施		
事業期間中の		実	績	実施設計の実 施	基礎工事の着 手	基礎工事、躯 体工事の実施	躯体工事、設備 工事の実施	設備工事、外装 工事の実施			
活動目標		目	標								
		実	績								
		目	標								
		実	績								
	成果目標(指標)			進捗状況							
事業期間中の 成果目標	, 从未日保 ,			~H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			
	那覇港総合物流センターの整備完了		目	標	実施設計の完 了		/ 物流センター	は 物流棟主要構造部完成、受 電設備の設置	工事完了		
			実	績	実施設計の完 了	ランプウェイ 基礎工の完 了	物流センター基	造部元成、党	工事完了		
			目	標							
		実	績								
			目	標							
			実	績							

	成果目標(指標)	達成/進捗状況						
	□ 中期にわたる事業効果■ 後年度に発現する事業効果		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R1年度 目標/発現年度	
	那覇港総合物流センターの取扱貨物量	目標	-	-	-	-	4,580TEU	
事	が判が心心ロガルピング ジ状以外が生	実 績	-	-	-	-	5,550TEU	
業完		目標						
了後(実績						
の成果目標	【R1年度】 - 那覇港総合物流センターの取扱貨物量は5,550TEUとなり、目標値を達成した。							

状況説明

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【R1年度】 ・那覇港総合物流センターを活用した集荷・創貨の取組により、初年度の目標値は達成された。	【R1年度】 ・那覇港管理組合と那覇港総合物流センター運営企業間で開催する月次 会議により、今後も適切な管理運営を行っていく必要がある。

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R1年度】 ・那覇港管理組合と那覇港総合物流センター運営企業間で取扱貨物量の増加及び物流高度化に対する課題を共有し、適正な管理運営を継続することで、取扱貨物の維持・増加に努める。

市町村名		浦添市									
		沖縄振興	特別推進交付	金事業(市町村	分)検証シ	ート【事	業完了後	I		
事業名	臨港道路浦添線無電柱化事業							紀ピジョン			
7.7.1							基本計画	該当箇所	人流・物流を支え	たる港湾の整備	
担当部課名	企	油部 西海岸開発局	司 西海岸開発 課	事業実施 年度	平成 27	~ ^{平成} 年 29		基本方針 6箇所	Ⅲ −1·	-(3)	
事業内容	那覇港浦添ふ頭地区の臨港道路浦添線 まちづくりに向けて、無電柱化を行った。 【事業概要】 臨港道路浦添線(片側歩道 L=1.5km)				、観光立り	県沖縄のウォー	ターフロント	景観の向上及	び災害に強い	安心安全な港	
実施方法	□ 直接実施 □ 委託 ■ 補助			助 [」 □ 負担 □ その・			他()			
			H27年度	H28年度		H29:	年度	H30年度	*	事業費	
	Α	最終予算額	1,20	00	1,8	339	2,040			5,079	
	В	3. 執行額 	32	22	1,839		1,841		4,002		
事業期間中 の予算額		うち 交付対象事業費	32	22	1,8	339	1,841			4,002	
・執行額 【単位:千円】		うち 交付金充当額	25	57	1,	471	1,472			3,200	
	執行率(%)(B/A)		26.8	3%	100.0%		90.2%			78.8%	
	電線管理者との協定締結に係る調整に時間を要した事や、信号設置者等の整備計画変更等により予算の繰 執行状況の説明 執行状況の説明 本成29年3月に電線管理者と無電柱化に係る費用負担や整備後の管理条件等について覚書及び協定書を締 結し、平成30年度に必要な施設への入線工事を完了した。										
	活動目標(指標)				達成状況						
事業期間中の						H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	入線工事の実施			B	標	事業の着手	入線工事に 関する委託業 務及び入線 工事の実施	入線工事の領施	<u> </u>	_	
活動目標	八帆上市以大加		実	績		入線工事に 関する委託業 務及び入線 工事の実施	入線工事の 施	<u> </u>	-		
				目	標						
				実	績						
事業期間中の	成果目標(指標) 臨港道路浦添線の供用に必要な施設(信号 機・照明等)への入線工事の完了			進捗状況							
					H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
			目	標	入線に関する委 託業務の完了	入線工事の完 了	_	_	_		
			実	績	入線に関する委 託業務の完了	入線工事の完 了	_	-	_		
成果目標				目	標						
				実	績						
				目	標						
				#	結						

事業完了後の取り組み 達成/進捗状況 成果目標(指標) R1年度 目標/発現年度 □ 中期にわたる事業効果■ 後年度に発現する事業効果 H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 目 標 0件 0件 整備箇所における台風等自然災害による断線被害 実 績 0件 0件 事業完了後の成果目標 目 標 実 績

【R1年度】

・整備箇所における断線被害は発生していない。

状況説明

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【R1年度】 ・本事業により、観光立県沖縄のウォーターフロントとしての景観づくりに配慮した整備を実現することができた。	【R1年度】 ・整備箇所において災害時に断線被害が生じていないか、確認を行う。

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R1年度】 ・引き続き台風襲来直後の巡回を実施し、断線被害0件の達成状況を確認する。